

平成19年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

事業名	中小企業を対象としたリスク・マネジメント講座の実施と評価		
法人名	学校法人三橋学園		
学校名 ((2) のみ)	船橋情報ビジネス専門学校		
代表者	理事長 鳥居 勝一	担当者 連絡先	鳥居 高之 TEL 047-425-1051

1. 事業の概要

リスクへの対策が無防備な中小企業を主要な対象として、リスク・マネジメントの講座を実施した。具体的には、定年退職を控えた中高年に加え、中小企業経営者やその後継者、病院・行政の関係者、社会保険労務士、中小企業診断士、税理士、司法書士などを対象とし、事業リスク評価を習得できるレベルを目指した実践性の高い講座とした。また、課題に関する質問や個々の相談に対応するために、講師陣のeメールアドレスの開示や掲示板の設置も行った。

講座は7日間とし、各回は18時から20時の2時間にて開催した。毎回受講者アンケートを実施するとともに、最終回には講座に関する総括的な感想等も入手した。これらの結果および担当講師からの総評を基に本講座の評価を行い、課題の抽出や今後の展開についての方向性を探った。

2. 事業の評価に関する項目

①目的・重点事項の達成状況

申込者総数42名(第一講座20名、第二講座22名)の大半が男性であったが、20代から70代まで幅広い年齢層から申込みがあった。(最年少26歳、最年長72歳、平均年齢50.2歳)この42名のうち、7割以上の30名にはリスク・マネジメントの経験がなかった。

終了試験の結果、第一講座、第二講座を合わせて13名が合格となった。未経験者が多い中、約3割の受講者が講師の望む水準まで達することができた。

②事業により得られた成果

受講者アンケートの結果からは、7回全ての講座が「役に立つ」と感じられる内容であり、ほとんどの受講者が「満足している」という結果が得られた。また、講師アンケート結果からも、受講者の真剣かつ熱心な受講態度や、このような講座を実施できたことに対しての、高い評価を得ることができた。

中小企業にとってリスク・マネジメントが十分に普及していない状況の中、中小企業向けの本格的な内容で講座として、受講者および講師が満足できる内容にて実施することができたことは、本事業の大きな成果と言える。

③次年度以降における課題・展開

中小企業向けの本格的な内容とするために、教材は平易な表現を用い、ワークショップやケース・スタディ、演習問題、実習に多くの時間を割り当てた。しかしながらリスク・マネジメント経験者が非常に少ないこともあり、講義内容が難しいと感じた受講者が少なくなかった。

今回の講座は、中小企業に対するリスク・マネジメントを学術的な側面と実務的な側面から捉えた内容となっているが、あくまで知識の習得に留まる部分もあり、これを所属組織でどのように活用し取り組むかが今後の課題となる。

リスク・マネジメントを自社で取り組みたい、仕事で活用したいという受講者の要望(ニーズ)が意外に高い状況を認識することができた。社内にリスク・マネジメントを理解している人がいない、指導できる外部関係者もいないということもあり、リスク・マネジメントが実施されていないのが現状ではあるだけに、この分野の人材を育成することは急務である。

本講座の実施を通じ、中小企業においてもリスク・マネジメントのニーズが高まっていることを把握できた。しかしながら、ニーズが高まっているにもかかわらず、リスク・マネジメントは、必ずしも実施されていないのが現状である。これは、社内にリスク・マネジメントを理解している人がいない、または相談すべき指導者がいないことに起因すると考えられる。リスクへの対策が無防備に近い中小企業に、リスク・マネジメントの実施を促進させるためにも、これらへの対策は急務となる。

今回の受講者の中で、中小企業経営者が一番多かったが、社会保険労務士、ITコーディネータ、コンサルタント、技術士といった中小企業を指導する立場の専門家が約半数を占めていた。中小企業のリスク・マネジメント能力の向上を図るためにには、中小企業経営者に対する講座の実施は不可欠であり、実施を通じてリスク・マネジメントの裾野を広げる必要もある。その一方で、リスク・マネジメントに関する相談・指導ができる専門家育成も必要であり、中小企業を指導する立場にある専門家(ITコーディネータやコンサルタント、中小企業診断士など)に対しては、継続的に講座を実施する必要があると考える。

3. 事業の実施に関する項目

①講座

<開催日>

【第一講座】

1日目 平成19年09月19日(水)18:00~20:00
2日目 平成19年09月26日(水)18:00~20:00
3日目 平成19年10月01日(月)18:00~20:00
4日目 平成19年10月09日(火)18:00~20:00
5日目 平成19年10月15日(月)18:00~20:00
6日目 平成19年10月22日(月)18:00~20:00
7日目 平成19年10月29日(月)18:00~20:00

【第二講座】

1日目 平成19年11月05日(月)18:00~20:00
2日目 平成19年11月14日(水)18:00~20:00
3日目 平成19年11月19日(月)18:00~20:00
4日目 平成19年11月26日(月)18:00~20:00
5日目 平成19年12月03日(月)18:00~20:00
6日目 平成19年12月10日(月)18:00~20:00
7日目 平成19年12月17日(月)18:00~20:00

<対象者>

定年退職を控えた中高年、中小企業経営者やその後継者、病院、行政の関係者、社会保険労務士、税理士、司法書士等を対象として、7日間の講座を2回実施した。

<テーマ>

- 1日目「何故、中小企業にリスク・マネジメントが必要か？」
- 2日目「中小企業における、内部統制とJ-SOX法の関係(1)」
- 3日目「中小企業における、内部統制とJ-SOX法の関係(2)」
- 4日目「ビジネス・リスク分析入門とリスク・ワークショップ(1)」
- 5日目「ビジネス・リスク分析入門とリスク・ワークショップ(2)」
- 6日目「中小企業における、危機管理とBCP(事業継続)」
- 7日目「中小企業における、資金調達・投資とリスク・マネジメント」

<受講者数>

42名(第一講座20名、第二講座22名)

<受講者属性>

性別: 男性37名、女性5名

年代: 20代2名、30代8名、40代12名、50代9名、60代7名、70代4名

リスクマネジメント経験: あり12名、なし30名

エクセル経験: あり39名、なし3名

②その他

これまでには、主に大企業を対象に実施してきたリスク・マネジメント講座を中小企業向けに最適化した内容とした。本講座は、講義とワークショップを併用し、単なる知識の習得だけではなく実践的能力を身につけ、リスク・マネジメントが中小企業にとっても重要な経営課題であることをよく理解した上で、リスク・マネジメントを通してPDCAサイクルを実行する感をも養うことを重要な目標とした。そのため、ワークショップやケース・スタディ、演習問題、実習に多くの時間を割り当てる。

本講座に加え、補講の実施、web上に掲示板を設置、講師陣のeメールアドレス開示など、サポート体制の構築を図りつつ講座を開催した。